

2024 年度法政大学高等学校卒業式 校長式辞

春の息吹を感じるこのよき日、卒業式を迎えられた皆さんに、祝福の言葉を贈ります。
保護者の皆様にも感謝をこめてお祝い申し上げます。本日は学校法人・法政大学を代表して、
GIS グローバル教養学部長 福岡賢昌(ふくおか たかまさ)先生にお越し頂いております。
PTA 会長 松尾奈穂子(まつお なおこ)様をはじめ役員の皆様、同窓会会長 高村嘉昭(たか
むら よしあき)様を来賓としてお迎えし、卒業式を挙行できますことに、感謝申し上げます。

さて、多くの情報が行き交う中、フェイクニュースがはびこってもいます。何を真実とするか、自分で考えることが今ほど求められる時はありません。今年1月三者協議会で「法政での学び」をテーマに講話してくれた卒業生 神原英彰(かんばら ひであき)さんのススめで、私はテレビドラマ「御上先生」を観はじめました。松坂桃李ふんする御上先生は、生徒に「おかみ」とリスペクトされ、対等に議論します。繰り返し出てくるセリフがあります。「個人的なことは政治的なこと」英語で“Personal is Political”。ドラマの中では、個人が抱える生きづらさは、実は社会的な問題、政治が解決する問題だという意味です。生理の貧困、原爆投下、金融とは何のためにあるのかなど、御上先生は「考えて」と促し、生徒は全力で議論します。私は本校三者協議会の生徒の姿と重なり、10代20代の感性が社会を変える可能性を感じ、胸が熱くなりました。

最後に。この先もしあなたが孤独に陥ってしまったら、信頼できる人に相談してください。安心して話せる場、サード・プレイスがきっとあります。人は依存して生きています。ゲーム、ネット、推し活、買い物。もし依存症になったとしても、たとえ罪を犯してしまったとしても、自助グループなどあなたの回復を一緒に考えて対話してくれる人がきっといます。それを信じて人に頼ってください。

皆さんの前途に幸多からんことを願い、式辞といたします。

2025 年 3 月 8 日
校長 松浦麻紀子